



No. 179

2025.5.15

2月 定例会

やいづ 未来へつなぐ

議会だより

特集

第2回議会報告会 焼津水産高校 ⇄ 市議会



ここに注目！

特集：第2回議会報告会	1
2月定例会概要	3
市政をただす！代表質問・一般質問	6
政倫審・懲罰特別委員会	16
各委員会の議案審査	17



第2回「議会報告会&意見交換会」

焼津水産高等学校 流通情報科の生徒の皆さん

開かれた議会を目指す焼津市議会では、昨年10月の焼津高校に引き続き、議会や政治に関心を持っていたため「議会報告会&意見交換会」を令和7年1月20日に市役所で開催しました。当日は水産高校流通情報科の生徒の皆さん19名と議員が参加しました。

第1部報告

○議会から

議会の仕組みと11月議会の様子などを説明し、高校生からは流通情報科の活動を報告していただきました。

はじめに日本国憲法92条と地方自治法1条の2に基づき、地方公共団体（市役所）の役割は住民の福祉の増進が基本であることを解説しました。

そして地方議会は議員と首長（市長）を直接選挙で選ぶ二元代表制であり、国会の議院内閣制とは別の仕組みであることを図解で説明しました。

続いて市役所の役割は議会で可決した議案や予算に基づいて事業を進めること、議会には市が提案した議案や予算案の賛否・市の仕事のチェック・政策提言の役割があり、さらに議員は市民の多様な意見を把握して市政に反映することが重要であると説明しました。最後に11月議会で決めたことや議論の様子を報告。これからも議会基本条例にのっとり、開かれた議会を目指して活動を進めていくことを皆さんとお約束しました。

○流通情報科から

生徒さんからは今学んでいる流通情報科ならではの実習活動「模擬会社・フィッシュパラダイス「魚国」」について報告していただきました。予算計画からオリジナル

商品「かつお節クッキー」や営業活動など、まさに模擬企業。創立100年を超える水産高校の歴史がこれからもたくましく未来に続いていくことを感じました。また魚国のPRチラシをふるさと納税の返礼品に同封してもらえたら嬉しいですとの提案もありました！



高校生の皆さんが魚国の仕組みを分かりやすく報告してくれました



委員会室で議会の活動を報告。「理解できた、多少理解が進んだ」とアンケートで回答いただきました

第2部 高校生と議員の意見交換&発表

ABCDの4グループに分かれ、若い世代の焼津への思いやアイデアをいっしょに語っていただきました。
どんな焼津になってほしい？こんな焼津なら暮らし続けたいよね！など、焼津の課題や解決方法を一緒に考えることができました。

A 「まちづくりと観光」

自由に移動するための無料のシャトルバス運行、駅舎のリニューアルやトイレの設置、街灯を増設してまちを明るく、利用制限のない大型公園、焼津の歴史を知ることができる場所、第五福竜丸史料館、海や高草山を利用したレジャー、魚河岸シャツストリートがあれば人が集まりそう！



B 「もっと住み良いまちづくり」

自転車で安全に走れる道路、登下校に合わせてバスの本数を増やす、カラオケなど高校生が使える遊び場、シェアサイクルの拠点、世代を超えた交流の場、子どもが地域で活躍できる、初めてでも挨拶できるまちが住みやすい！



C 「若者が住みたくなるまち」

行動範囲を広げてくれるバスの増便、子育て中でも買い物しやすい利便性、自由にスポーツができる、静かで勉強しやすい場所、災害に強い、交通の安全性、自宅から出かけてゆつくりできるカフェなど多様な楽しみの選択肢があり人生を充実して過ごせるまちであってほしい！



D 「漁港を活用した地域活性化」

空き地をキャンプ場に、焼津をテーマにした公園、全体を再整備、イベントを積極的に告知する仕組み、TikTokでアピール、巡回バスなど公共交通機関を増やす、ヨットハーバー、多くの年齢層が好むショッピングモール、さかなセンターをふいしゅーなに移動してリニューアルしたらどうだろう！



意見交換会終了後、高校生から意見の発表をしていただきました。高校生の皆さんは終了後のアンケートにも丁寧な回答をくださいました。これを機会に焼津市議会に声を届けていただけたら嬉しいです。議員一同、皆さんからのご相談やご意見をこれからもお待ちしております。

定例会 概要

令和7年度当初予算案総額 1280億3133万円

議案審査を経て全て可決！

市議会2月定例会は、2月14日から3月19日までの34日間の会期で開かれ、市長提出議案60件、議員提出議案3件を審議し、市長報告事件4件、監査委員報告事件4件を了承

2月14日 本会議第一日

- ・議長、副議長の選挙
- ・各常任委員会及び議会運営委員会委員の選任、各特別委員会委員の補充選任
- ・外郭団体組合議会議員の選挙
- ・人事案件2件を上程し、同意（市長提出）
- ・令和6年度補正予算10件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計1件）を上程（市長提出）
- ・令和7年度当初予算12件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件）、条例案件28件（制定2件、改正24件、廃止2件）、一般案件2件を上程（市長提出）

2月19日 各委員会の議案審査

- ・各委員会で付託された議案を審査

2月21日 本会議第二日

- ・2月14日に上程された15議案の委員会審査結果報告及び討論を経て、全て可決

3月4日・5日・6日 本会議第三日・四日・五日

- ・代表質問4議員、一般質問12議員（P6～16参照）
- ・条例案件1件、一般案件1件を追加上程（市長提出）
- ・請願1件を上程（議員提出）

3月7日・10日・17日 各委員会の議案審査

- ・各委員会で付託された議案を審査（P17～18参照）

3月14日 本会議第六日

- ・石原孝之議員に対する懲罰動議を上程、委員会付託、懲罰特別委員会の委員を選任

3月19日 本会議第七日

- ・2月14日及び3月6日に上程された39議案の委員会審査結果報告及び討論を経て、全て可決（P4～5参照）
- ・人事案件1件を追加上程し、同意（市長提出）
- ・令和6年度補正予算1件（一般会計1件）、令和7年度補正予算1件（一般会計1件）、一般案件1件を追加上程し、委員会審査を経て、全て可決（市長提出）
- ・3月6日に上程された請願1件の委員会審査結果報告を経て、不採択（P5参照）
- ・条例改正1件を可決（議員提出）
- ・意見書1件を採択し国へ送付（議員提出）（裏表紙参照）
- ・3月14日に上程された石原議員に対する懲罰動議に対する委員会審査結果報告、石原議員からの弁明、採決が行われ、全会一致で陳謝の懲罰を科すことを可決
- ・石原議員が陳謝文の朗読を拒否したことから、石原議員の懲罰拒否に対する懲罰動議を上程し、委員会付託、委員会審査結果報告、石原議員からの弁明、採決が行われ、全会一致で出席停止（1日）の懲罰を科すことを可決

主な議案の審議結果



令和7年度焼津市温泉事業
特別会計予算案
1億390万円

全会一致原案可決



令和7年度焼津市国民健康
保険事業特別会計予算案
125億4,930万円
令和7年度焼津市後期高齢者
医療事業特別会計予算案
24億5,770万円

全会一致原案可決



令和7年度焼津市一般会計
予算案
721億8,200万円

賛成多数原案可決



令和7年度焼津市水道事業
会計予算案
収益的支出
21億7,046万3千円
資本的支出
28億2,722万7千円

賛成多数原案可決



焼津市立学校施設使用料条例
の一部を改正する条例の制定
について
小・中学校体育館の空調設備の
整備に伴い、夜間に空調設備を
使用する者から徴収する冷暖房
使用料を定めようとするもの。

全会一致原案可決



令和7年度焼津市介護保険事業
特別会計予算案
130億1,710万円

全会一致原案可決



令和6年度焼津市一般会計
補正予算(第12号)案
12月補正後の事情変化に伴
い、ふるさと納税推進事業
の実施に必要な経費等の追
加を行うもの。

賛成多数原案可決



令和7年度焼津市公共下水道事業
会計予算案
収益的支出
19億5,551万3千円
資本的支出
15億3,716万3千円

全会一致原案可決



令和7年度焼津市病院事業
会計予算案
収益的支出
162億7,768万2千円
資本的支出
13億2,058万1千円

全会一致原案可決

議案63件中、賛否が分かれた議案の採決状況

(○印は賛成、×印は反対 村松幸昌議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。増井好典議員は一部欠席)

議案名			議決結果	四之宮	鈴木	井出	藤岡	村田	原崎	吉田	奥川	石原	内田	増井	河合	石田	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	鈴木	深田
市長提出議案	議第1号	令和7年度焼津市一般会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第10号	令和7年度焼津市水道事業会計予算案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第13号	令和6年度焼津市一般会計補正予算(第12号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第24号	焼津市議員報酬等支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第25号	焼津市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第27号	焼津市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請第1号	「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」に関する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

市長提出の議第1号、議第10号、議第13号、議第24号、議第25号、議第27号について深田議員が反対討論を行いました。議第1号、議第10号について井出議員が賛成討論を行いました。また、議第1号について原崎議員が賛成討論を行いました。

新しい議長、副議長、監査委員が決定



議長
村松幸昌



副議長
河合一也



監査委員
川島要

2月定例会初日に議長及び副議長の選挙、監査委員の選任が行われ、議長に村松幸昌議員、副議長に河合一也議員、監査委員（議会選出）に川島要議員がそれぞれ選ばれました。

常任委員会等の構成

2月定例会初日に、常任委員会委員の選任等が行われ、以下のとおりの構成になりました。

(◎委員長 ○副委員長)

<総務文教常任委員会(定数7人)>

◎内田修司 ○井出哲哉 藤岡雅哉 奥川清孝 河合一也 川島要 秋山博子

<市民福祉常任委員会(定数7人)>

◎杉田源太郎 ○村田正春 鈴木まゆみ 原崎洋一 村松幸昌 岡田光正 池谷和正

<建設経済常任委員会(定数7人)>

◎増井好典 ○吉田昇一 四之宮慎一 石原孝之 石田江利子 鈴木浩己 深田ゆり子

<議会運営委員会(定数7人)>

◎石田江利子 ○鈴木浩己 原崎洋一 奥川清孝 内田修司 池谷和正 深田ゆり子

<議会改革検討特別委員会(定数6人)>

◎鈴木浩己 ○石田江利子 吉田昇一 増井好典 杉田源太郎 池谷和正

<やいづ市議会広報特別委員会(定数6人)>

◎内田修司 ○原崎洋一 井出哲哉 増井好典 川島要 深田ゆり子

<志太広域事務組合議会(定数8人)>

村松幸昌 河合一也 鈴木浩己 杉田源太郎 石田江利子 増井好典 原崎洋一 四之宮慎一

令和7年度の施政方針について伺う

いしだえりこ
凌雲の会 石田江利子



Q 新たな基本計画として運営の総合的な指針となる第7次総合計画の策定において、未来デザインとの関係を伺う。

A 焼津未来デザインはダイヤモンド構想を発展的に再構築し、まちづくりの基本的な考えを整理したもので、おおむね20年後の考えや未来像を実現するための方向性を示している。

Q 考え方とスケジュールはどうか。

A 基本構想は第6次総合計画で掲げた将来都市像や基本理念を継続し、4つの考えを踏まえ策定を進める。①地域課題、行政課題の解決に必要な短期、中期的な計画②市民とともにまちづくりを支え合う計画③横断的な視点による課題解決に向けた計画④環境変化に対応しながら成果向上を図る計画とする。本年度は市民アンケート調査、庁内体制の整備と施策の柱立てを検討する。次年度は具体的な施策の内容の検討と、市民意見を聴取し、基本計画の素案をまとめる。

Q 総合計画の推進エンジンのプロジェクトチームの現状と今後は。

A プロジェクトチームは再構築を行い、複数の部署にわたる重要な施策や課題に対し、職員等の知識、経験及び能力を集積し、機動的かつ横断的に対応する。

新病院建設基本設計 再度見直し

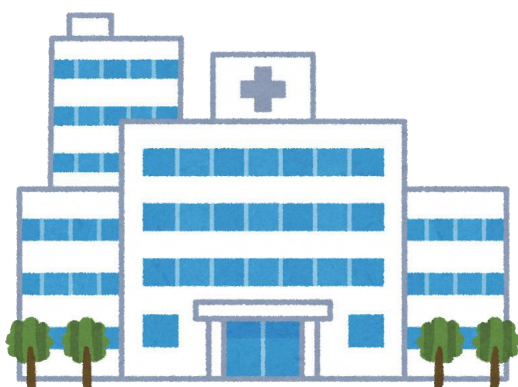
Q 平成30年3月に基本計画を策定し、基本設計に取り組んだが、

新型コロナウイルス感染症の拡大から令和5年度に基本設計を見直した。その後予想を上回る急激な物価高騰や労務費の上昇等により、概算工事費が当初約300億円から約460億円に増大し、金利と合わせ約600億円になる事から再度見直すとのことである。経緯を伺う。

A 経営体力の強化に取り組むとともに、受療動向や医療機能の変化に対応するため、昨年度から次年度にかけて基本設計を見直した。地域医療を支える中核病院として、高度急性期、急性期

Q 見直しの考えと今後の予定は。

A 病床数の見直しや医療従事者の確保等、業務、人員配置の効率化やランニングコストにも配慮する。基本設計を令和7年度早期に完了し、令和12年以降の早い時期の開院を目指す。



市長4期目の市政運営にあたり 市民の関心が深い政策について伺う

代表 質問

自由みらい 奥 川 清 孝



子育て・教育政策

Q 令和7年度の重点取り組みは。

A 県内初の独自支援策として、放課後児童クラブの利用料について第1子の利用の有無に関わらず、第2子以降の小学校3年生以下は無料とし、4年生以上は半額とする。全ての小中学校舎トイレの洋式化が完了する予定。また小中学校体育館へのエアコン設置も完了する予定。今後は、教室内のロッカー、体育館のトイレ改修、学校施設の照明もLED化を進めている。

健康・医療・福祉政策

Q 地域支援事業と在宅医療・介護連携推進事業の内容は。

A 通いの場や個別の家庭訪問、介護予防を学ぶ機会の提供など活動の場の創出等に取り組み。医師会と連携し、訪問診療の提供体制等の協議を進める。早い段階から人生の最終段階における自分の望む医療やケアを家族等と共有するアドバンスケ

アプランニングの普及啓発に取り組む。

経済・観光・交流政策

Q 海業の戦略的推進の内容は。

A 海業事業計画では、焼津漁港新港地区に水産観光交流施設をはじめ、民間事業者を主体とした事業の実施を計画している。

Q 陸と海の賑わい交流の推進と展望は。

A 焼津インター周辺地域の利活用については、焼津さかなセンターのリニューアルの検討を支援する。防災機能を備えた道の駅も検討を進め、地域の賑わい創出を目指して再構築していく。

防災・都市基盤政策

Q 避難者に対する生活支援は。

A 令和7年度に導入する被災者支援システムにより、罹災証明書の発行や被災者生活再建支援金の支給手続きなどが迅速化されることで、被災された方々への生活支援につながる。

Q 焼津駅周辺の賑わいや魅力あるまちづくりの内容は。

A 駅舎や駅前広場、都市機能の集約による拠点施設の再編、市街地再開発事業による良好な住環境の再構築を推進する。

行政経営と健全財政政策・都市基盤政策

Q 市債残高減少と財政健全化の具体的な取り組みは。

A 収入の確保を図るため、企業誘致や移住定住人口の増、ふるさと納税の推進に取り組む。また交付税措置のある有利な地方債の活用、基金の計画的積立など、将来負担の軽減に努める。



第6次総合計画第2期基本計画の 総仕上げと次期総合計画策定に向けて

代表 質問

公明党議員団 鈴木 浩己



第6次総合計画の 着実な推進

Q これまで7年間の課題について
伺う。

A 本格的な人口減少時代を迎え、
様々な分野で複合的な課題が顕
在化してきており、特に労働力
人口の減少に伴う産業やサービ
スの維持のほか、インフラの老
朽化への対応、超高齢社会にお
けるコミュニティの希薄化、
移住定住の促進などが課題であ
ると考えている。

Q 市民意見により施策の改善が図
られているか。

A 市民意識調査におけるデータや
自由意見から市民ニーズを捉え
施策に反映してきているため、
改善につながっているものと考
えている。

Q これまで組織横断的な取り組み
による課題解決に向けた取り組
みと実績は。

A 18のチームにより組織を横断し
た課題解決に取り組んでいる。
これまでDX推進による市民

サービスの向上と行政の効率化、
全国でも先進事業である困りご
とマルっとサポートセンターの
整備、猛暑対策の充実、帆船日
本丸の招致など、多くの成果を
得ることができた。



第6次総合計画の総仕上げ！

次期総合計画への取り組み

Q より一層、民意が反映される次
期総合計画のために、策定の体
制や特に配慮された点があるか。

A 新たな取り組みとして、商業や
漁業、子育てや教育などの団体
に対するヒアリングの実施や市
の公式LINEの活用により把

握をしていきたいと考えている。
Q 大型投資が次期総合計画の計画
期間内で行われる。新たな施設
や既存施設のマネジメントに係
る財政負担についてどのように
考えているか。

A 近年の物価高騰や金利の引上げ
といった社会情勢の変化などを
踏まえ、公共施設等総合管理計
画や個別施設計画においても考
慮していく必要がある。

Q 公共サービスと民間サービスの
狭間で困窮するケースとして、
妊婦の移動支援や高齢者等のご
み出し支援が該当するが、どう
考えているか。

A 妊婦の移動支援、救急車の利用
については、陣痛時や体調の急
変などにより、すぐに医療機関
に向かう必要性がある場合は躊
躇なく救急要請が可能である。
高齢者等のごみ出し支援につい
て、新たな住民主体の活動に対
する支援を通じて、好事例が他
の地区へ広がるように取り組み
を進めていきたいと考えている。

施政方針～暮らし・福祉・子ども・女性・平和を守るために

代表質問

日本共産党市議会議員団 ^{ふか} ^だ ^こ 深田ゆり子



物価高騰への緊急支援

Q ガソリンや食料品価格の物価高騰が続き生活が一層厳しくなっている。介護・福祉事業所へガソリン代補助や低所得世帯へ生活必需品の購入支援はどうか。

A ガソリン代の助成は、現在、市独自の支援は考えていない。低所得世帯である住民税非課税世帯に対し、国の経済対策として1世帯3万円、当該世帯に扶養されている18歳以下の子どもに対し、1人2万円を給付する。市独自として経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に夏季休業期間中の昼食費や進学、進級時の教育費の支援を行う。

高齢者に無料バス・タクシー券を

Q 自動車の免許返納者や高齢者から「病院への通院にバス停が近くななく、タクシー代が1回往復4千円以上かかる」声がある。高齢者の通院時などへ無料のバ

ス・タクシー券を。

A 現在のところ実施の計画はない。

放課後児童クラブへの支援

Q 第2子以降の利用料を市独自の支援策として、令和7年度から第1子の利用に関わらず、小学3年生以下を無料、4年生以上は半額とするとのこと、一歩ずつ前進している。支援員配置充実のための補助はどうか。

A 国の基準に基づき、放課後児童支援員等処遇改善事業及び放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を行っている。



学校給食マーガリンパンの改善を

Q マーガリンパンのマーガリンやショートニングの原材料は植物

油脂と表示されている。輸入の

パーム油を使っているのではない。パーム油は、森林破壊の環境問題、児童労働問題、健康問題がある。他の物に改善を。

A 栄養価やバランスを考えて献立を作成し、他にもロールパンやアップルパンなど安全性が確認されたパンを提供している。

Q パンの油脂、ショートニングは何の原材料からできているのか。
A そちらまで把握していない。

ジェンダー平等推進のために

Q 全ての学生に生理用品を、と県内でプロジェクトが始まっている。本市も庁舎、公共施設、学校トイレに生理用品の常備を。

A 現在、公共施設のトイレへの常備は考えていない。

戦後80年の節目の年

Q 特別な平和事業はどうか。
A 本市が加盟する平和に関する団体と連携し、被爆80周年記念事業に参画していく予定である。

市 政 を ^{ただ}質 す ！

一 般 質 問

2月定例会では、12議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



スマートーC周辺まちづくり 委託事業の経過と今後

Q 民間事業者への調査の結果は。

A 複数社より事業展開の可能性があるとの回答が得られた。

Q その件数は。

A 流通業務系企業が8社、建設系のデベロッパーが6社である。

Q 3社の案を基にして2つの素案が作られた。この素案には農業がない。なぜか。

A 直販施設だとか物販施設等が入っている。農業全てを度外視したというわけではない。

Q この2つの素案は市街化区域に編入しなければできない案だ。市は承知しているということか。

A まだ素案が決まったものではない。これからの課題だ。

Q 市街化区域編入が決まった場合、地域での営農は続けられるか。

A 営農を希望する農業者に対しては意向を尊重し支援していく。

Q 素案の1、2については農地がない。農政としての受止めは。

A まだコメントする段階ではない。

災害予想と対策

Q 大地震、大津波による下水道被災の想定は。

A 下水道管の破損、マンホール結合部の破断に対して、管路調査等の結果に基づき、順次更新を進めている。

Q 被災時の避難所トイレの準備数は政府の新指針、スフィア基準（20人に1基）の個数か。

A 計画的に整備し増やしていく。

Q 原子力防災のしおり、広域避難ガイドブックの説明会予定は。

A 今年度は4回の説明会、5回の出前講座を開催し、ホームページで周知している。



原子力防災のしおり
（令和6年11月に全市に配布された「広域避難ガイドブック」）



すぎた げん たらう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



不登校対策

Q相談できない、したくない保護者への対策は。

A子ども支援課、家庭支援課の二課体制から成る学校福祉部が、学校生活や家庭生活に問題を抱える児童・生徒の生活改善等に取り組んでいる。令和5年度に支援した児童・生徒は合計94人で、そのうち学校に登校できた児童・生徒が76人、チャレンジ教室等につながった児童・生徒は15人であり、学校福祉部が関わることで多くの児童・生徒の前に進む姿が見られるようになってきている。またその他にも心の安定が図られ、生活の改善が見られた児童・生徒が多数あり、本市の取組みが大きな成果に結びついていると考えている。

コミュニティ・スクール

Q令和5年度から市内全中学校区においてスタートしたコミュニティ・スクールの活動が児



すずき 鈴木まゆみ
(無党派)



童・生徒の成長や地域社会の活性化につながっているか。

A地域防災訓練で防災アプリ講座を中学生が主体となって企画運営した地区があり、多くの高齢者が中学生の指導を受け、スマートフォン等で防災情報取得する方法を学ぶ姿が見られた。また、自治会体育組織の力によって特別支援学級の児童がモルック体験をする機会を得て、講師の手ほどきを受けながら、仲間や地域とつながり、楽しんでプレーすることができた地域もあった。



地域交流センターの今後は

Q地域交流センターを公民館からどのように発展させていくのか。

A多様な人々がつながる交流拠点、学び楽しむ生きがい拠点、地域で課題解決の活動拠点の3つの基本方針を掲げ、持続可能な地域コミュニティを形成し市民の皆さまが将来にわたって心豊かに暮らせる地域の実現を目指す。

Q港地域交流センターの整備の考え方とスケジュールはどうか。

A施設や設備の老朽化、バリアフリーに未対応という施設の課題を認識し、建て替えを決定した。来年度にかけて基本構想、基本計画を策定し、その後、基本設計、実施設計を行い工事に着手する。現時点では令和11年度完成を見込み、出来る限り早期に完成できるよう取り組んでいく。

治水対策の計画

Q今後の木屋川流域治水対策の計画を伺う。

A本市では公園や学校などの公共



ますい よしのり
増井好典
(凌雲の会)



施設を活用した雨水貯留施設や内水排除を目的とした雨水排水ポンプの検討など、治水対策に取り組んでいる。木屋川周辺の遊休地を活用した遊水地の整備や水路への逆流防止対策などの検討に着手した。

Q栄田川の越水対策の改修工事と今後の計画はどうか。

A高潮や木屋川水位上昇の影響を受ける下流区間において、護岸かさ上げを加速して進めている。また、栄田川流域の中新田地区においては、河川改修の実施に向け、用地測量や物件調査を実施し、工事に着手していく。



木屋川下流域

焼津漁港の地震・津波対策

Q 市民への説明は。

A 静岡県焼津漁港管理事務所が自治会関係者に対して、定期的に進捗状況を伝える説明会を開催している。市はHPや広報やいづ臨時号で津波対策施設や津波シミュレーション結果を知らせている。市政座談会などで津波対策の状況など市民にお知らせしている。

Q 港口水門の進捗状況は。

A 令和4年度を初年度とする焼津地区特定漁港整備事業計画において、構想として明記をされた。今後は構想から事業化されるよう、引き続き、繰り返し要望を行っていく。



静岡県焼津漁港管理事務所のHPより



はらぎひろかず
原崎洋一
(自由みらい)



焼津市立病院の経営強化

Q 公立4病院、市内病院、診療所の連携による取り組みは。

A 志太榛原医療圏の公立4病院では、当院の認知症疾病医療センター、脳卒中センター、周産期母子医療センター等での運用を始め、各病院、各診療科間の医療機能の相互補完体制を図っている。県内基幹病院ともふじのくにネットでの診察情報、画像情報等の共有により連携している。地域医療支援病院として、他院、開業医等からの申し込みにより、CT、MRI、心電図、エコー、骨密度などの高額医療機器による検査を実施している。

Q 持続可能な医療体制の維持は。

A 令和6年度から医師を病院事業経営戦略監に任命し、経営改善に取り組む。診療科長が地域の医療・福祉施設を訪問し患者を増やして、収益向上を目指す。

海業事業計画

Q 本市の海業は、全国的に見てどのような位置にあると考えているか。

A 海業が国の計画に明記される前から、地域資源を活用した先進的取り組みを進めており、全国有数の先進地域であると自負している。今後は全国モデルケース創出を目指す。

Q 本市が計画している海業の8つの事業のうち、水産・観光交流施設以外の内容は何か。

A 焼津PORTERSの横展開、



焼津市の海岸風景



しのみやしんいち
四之宮慎一
(凌雲の会)



経済波及効果の検証、浜通りの歴史・文化・景観資源を活かした観光コンテンツ、メタバース等を活用した教育体験コンテンツの開発などを予定している。

Q 焼津さかなセンターのリニューアルに関し、市の支援状況は。

A 運営会社と第三者を交えてコスト削減や売上増加策を検討しており、市もその検討に加わっている。令和7年度は40周年事業も含め、予算を拡充して支援する予定である。

デジタル通知 今後の取り組み

Q 今後、デジタル通知の登録者をものように増やしていく予定か。

A 市LINE公式アカウントなどを活用して案内を行うほか、窓口での丁寧な周知に努め、アプリの利便性向上とあわせて利用者の増加を図っていく予定である。

焼津市として災害備蓄の状況はどのようになっているか

Q 災害備蓄倉庫はどこにあるか。

A 消防防災センター、清見田公園、石津西公園、焼津四丁目、宗高地内の五カ所に配置している。

Q 国や県などからの支援物資の受け入れ場所はどこか。

A 物資集積拠点の市総合体育館に受け入れる計画である。

Q 災害備蓄品や支援物資はどのような手順で、避難者に届けられるのか。

A 指定避難所となる小中学校などを初期の配送先としている。

Q 支援物資などの配布などに配慮すべき点があると考えているか。

A 配布数量や受取先の表示などに適切な対応が必要と考えている。

Q 各自主防災会で高い場所に倉庫を整備する場合の補助はあるか。

A 自主防災組織育成強化事業補助金を活用してもらう。

Q 津波避難タワーへの資機材保管機能付きベンチの設置について、対応はどのようにしていくか。

A 県の地震津波対策等減災交付金



よしだ しょういち
吉田昇一
(自由みらい)



の補助対象が充実したことからトイレなどを収容した防災ベンチなどを計画的に設置していく。



大井川防災倉庫 (宗高地内)

流域治水の取り組みとしての雨水貯留施設等の整備

Q 公有地を活用した貯留施設の整備に向けた検討が可能か。

A 水災害対策プランに基づき、遊水地や地下貯留施設の整備を進め、公園・市立総合病院や学校などの公共用地を活用した雨水貯留施設の整備を計画的に進めていく。公共用地と併せ、民間用地を活用した整備についても検討する。

年末年始の医療機関の混雑を解消するために出来ることは何か

Q 市立総合病院救急室の体制は。

A 混雑を予測し救急科常勤医師によるバックアップ体制や当直研修医及び救急室看護師の増員など、体制強化を図った。

Q 市民へのアナウンスは。

A 今回の年末年始の状況を踏まえ、基本的な感染予防対策等の実践をお願いし、逐一情報を発信していきたい。

Q 当番医を増やすことは。

A 通常でも医療機関は激務が続いておりどこまで無理をお願いできるか、医師会と協議していく。

アクアスやいづの今後

Q 開業に向けての総事業費は約17億3千5百万円であった。開業以来の経費の総額は。

A 約19年間で指定管理料は約5億9千万円、補修費は約1億8千万円、その他費用約3億1千万円である。

Q 施設評価(施設カルテ)に令和10年以降は検討とあるが。



あきやまひろこ
秋山博子
(無会派)



A 現時点では継続としているが利用者数や施設の老朽化等を勘案しながら検討していく。

広域連携の可能性

Q 市広域連携における公共施設マネジメントは。

A 近隣自治体と施設を共同利用することで相互の機能を補完するとともに行政サービスの向上と経費削減も図ることができる。

Q 近隣市と生き延びるために広域連携の機運が重要では。

A 非常に大切なことだと認識している。問題や課題はいろいろ違うので、お互いに補完していくことがベストだと思っている。



海洋深層水利用施設
「アクアスやいづ」
(2008年オープン)

観光産業振興の切り札！やいづ親善大使の今後の活用策を問う

Q 現在のやいづ親善大使の選定基準は。

A 本市の出身者もしくは本市にゆかりのある者、本市を本拠地として活動する者、広く影響力を持つと認められる者と要綱に定めている。

Q やいづ親善大使の活動を効果的にするための新たな取り組みは。

A 今年度から焼津ホテル旅館組合と連携し、宿泊施設で使える2千円クーポン付き名刺を配布している。

Q 一人何枚配っているのか。

A 1人500枚である。



やいづ親善大使（一人500枚配布）
2,000円クーポン付き名刺
(焼津市政策企画課提供画像を一部加工)



いしはらたかゆき
石原孝之
(無党派)



藤枝市内の焼津市所有山林の歴史的意義と管理、活用体制の充実

Q 豊田地区の意思を大切にしたいという思いを受け、歴史ある豊田村が所有していた山林の今後の管理、保全、活用について、どのように反映させる方針か。

A 市有林の現在の管理体制と育成計画について現在では育成という方針はなく、山林の維持管理を継続して行っている。

Q 着々と進んでいる豊田地域交流センターの建設に合わせ、この山林の歴史的遺産を地域交流や社会教育として展開するなど、本市は今後どのような連携、活用策を検討しているのか。

A 新しく完成する豊田地域交流センター内に先人の当時の思いを表した館内へのパネル展示などを考えている。

第7次総合計画策定に向けて

Q 自治基本条例には「総合計画策定に当たり市民参加のもと十分に話し合い」とある。市民参加の話し合いはどのように行うか。

A 商業や教育など各団体に対するヒアリングを実施する予定。

Q 市民の声に広く耳を傾けるには。

A 市の公式ライン活用その他、寄せられた意見は丁寧に検討したい。

Q 策定の視点であるシビックプライドはどのように醸成されるか。

A 教育関係団体と連携し取り組む。

Q 小4から中3まで焼津市に関するテーマを、焼津市統一カリキュラムとして作り上げる計画を。

A 直ちに実行は難しいが、策定に当たって考え方を整理し、シビックプライドの醸成を大切な視点として盛り込みたい。

Q 総合計画の成果指標はSDGsの目標と関連して表現するか。

A SDGsと関連付けた進捗管理は考えていないが、どのように表現できるか研究していきたい。



ふじおかまさや
藤岡雅哉
(無党派)



焼津市におけるDXの現在地



第6次焼津市総合計画
第2期基本計画2022-2025

Q DX推進計画で「書かない・行かない市役所」実現を掲げているが、完全デジタル化の進捗は。

A 進捗の%表現は難しいが、令和7年度までに環境としては整う。

Q ノーコードツール導入成果は。

A 18業務に導入し、約2600時間削減。

Q 業務プロセスの棚卸の実行は。

A ノーコードツール活用時には業務フロー図を作成している。

Q 業務改善の際は業務フロー図に加え、工数計算による時間とコストの削減効果の想定は。

A DX推進課を中心に全庁的に取り組んでいきたい。



健診の未受診者に対し、過去の受診歴や年齢などから、その都度、対象者を選定して、受診勧奨通知を発送、また、平日働く皆様が受診しやすいように、今年度から日曜日の集団健診を年4回に増やし、受診機会を確保している。特定健診を受けることによる健康マイレージのポイント付与や、保健委員による受診勧奨活動も行っている。また健康づくりへの関心を持っている

焼津市立総合病院の機能強化、維持の方針を伺う

Q 経営強化プランを踏まえ、医療圏における中核病院として、新病院をどのように整備していく方向なのか。将来を見据えた人口構造や患者数の動向等をどのように考えていくのか。昨年度策定の経営強化プランどおりでいいのか。

A 新病院は、引き続き医療圏における中核病院としての役割を担うため、高度急性期機能を含む急性期病院として整備していく。また、現在、国が検討を進めている新たな地域医療構想及び将来の医療需要の変化などに対応できるよう、一部の病棟を機能転換が可能な工夫もしていく。



A令和9年1月にグランドオープンする。並行して、にぎわいづくりや憩いの場として令和8年夏頃に庁舎前広場の改修工事の完成を目指す。改修後、期待される効果は、市民サービス機能健康維持・生きがいづくり機能教育機能の主要機能が統合的に提供される拠点となることを目指す。

港の可能性が高まる。並行して誘致活動を進めている船会社もある。

A **Q** **拠点施設と観光の進め方は。**

物流とにぎわいの両面で栄えるよう取り組んでいる。観光については、漁業や水産加工業の体験や本市の食の魅力を満喫できる企画の造成を進めている。

大井川港へのクルーズ船誘致の状況は。

焼津市役所大井川庁舎

A 交流人口の増加、地域経済発展に資するにぎわい創出のため、官民連携して取り組んでいる。船会社は高い関心を示しており近い時期に初寄港に関して発表できると確信している。

Q クルーズ船のサイズは。

A 全長130メートル、総トン数1万トン級を予定している。

Q 寄港頻度についての考えは。

A 1隻寄港することで他社船の寄

Q 読書バリアフリーの今後の展開をどのように進めるか。

A 障害への理解をより深めるため
布絵本の作成講座や静岡福祉大
学との連携によりバリアフリー
資料を活用した事業を考える。

国民健康保険・後期高齢者医療保険加入の資格

40～74歳の方は 75歳になつたら

特定健診 後期高齢者 健診

年に一度は健診を受けましょう！

受診する3ステップ

ステップ1	ステップ2	ステップ3
国民の健康診断を受ける （市役所や保健センター に入ります）	健診時間・予約 （市役所や保健センターに 問い合わせるか 自分で予約）	特定健診を受ける （国民健康保険1,000円 です。75歳以上は無料）

Q. 受診が苦手な人へ場合は？

A. 保健センターへご連絡ください。また、その
Q. のコードで自治体申請をしてください

保健師健康支援センター

特定健診・後期高齢者健診受診事務
はこのセンターで行っています
（A・S・S・S方式で対応）

問へるわけ 後援者保健センター
TEL 027-277-6211
F A X 027-277-9960

1年に1度は健康診断を！
令和6年度特定健診案内チラシ
(焼津市健康づくり課作成)

子供達の豊かな学びのための 教員の働き方改革

Q 本市の教員勤務実態調査結果についての考察を伺う。

A 各校で選出された業務改善夢コーディネーターを中心に業務の効率化を進めてきたことや、支援員の配置増、心の教室相談員の勤務時間増、休日の部活動の地域移行などが結果に結びついていると考える。

Q 学校施設の地域開放、特に小学校の放課後、土日の開放を先生方が関与しない形でできるようなシステムにする考えはないか。

A 目的外使用であるが、学校や関係の各課等と協議しながら研究したい。

学びの保障に向けた 不登校対策

Q 心の教室（校内教育支援センター）をどのように利用し、また、その支援内容を伺う。

A 主として学校に登校はするけれども教室に入りにくい児童・生徒が利用し、落ち着いた雰囲気



むらた まさはる
村田正春
(自由みらい)



の中で自分に合ったペースで学習や自分の興味のあることに取り組みんでいる。

Q 市としての静岡バーチャルスクールについての考えは。

A 令和7年度からスタートする県の取り組みを見た上で、考えていきたい。

Q 東益津チャレンジで体験的な活動を取り入れることはどうか。

A 児童・生徒の「やりたい」をメインに、それとマッチした体験学習を重視し、カブトムシを飼育したり、地元の皆様のご協力により餅つき、しめ縄飾り作りをしたりしている。



2024年10月1日に開所した
教育支援センター「東益津チャレンジ」

政治倫理審査委員会



政倫審

審査結果報告書、弁明書などは、市HPに掲載しています。
二次元コードからご覧いただけます。

議会運営委員会において、モンゴル国訪問を行政視察とし政務活動費を充てようとした件に関し、通訳以外は1人で行ったと発言したが、実際には同伴者がいたため、虚偽の発言の疑いがあること、また、ブレイキングダウンのオーディションに市議会議員を名乗り、議員バッジを付け参加した件に関し、石原孝之議員に対し、令和6年11月12日、焼津市議会議員政治倫理条例に基づく審査の請求が、議員21名のうち、議長、石原議員を除く19名の議員から議長に対し提出され、「焼津市議会政治倫理審査委員会」が焼津市議会ではじめて設置されました。

合計5回の審査会による審査の結果、令和7年3月17日の議員全員協議会において、石原議員に対し、議会の措置として嚴重注意を行いました。

懲罰特別委員会



会議録



本会議
配信映像

懲罰特別委員会の会議録、本会議の配信映像（3月19日の委員会審査結果報告・石原議員の弁明など）は市HPに掲載しています。
二次元コードからご覧いただけます。

令和7年3月5日の一般質問の質問中に石原孝之議員が不穏当な発言をしたとして、焼津市議会の品位を著しく傷つけ、市政への不信を招いたものとして、3月7日に懲罰動議が提出され、焼津市議会ではじめて懲罰特別委員会が設置されました。

審査の結果、2月定例会最終日の3月19日に、全会一致で陳謝の懲罰を科す議決がされました。しかし、石原議員はこれを拒否したため、同議員によるこうした態度は議会における議決を軽んじるものであり、焼津市議会の規律や秩序を乱し、品位を一層傷つけるもので、市政への不信を招くこと甚だしいものであることから、再度、懲罰動議が提出され、審査の結果、出席停止（1日）が全会一致で可決されました。

教育施設の空調設備の使用料を決定

小中学校体育館の空調の管理方法・料金体系を議論

《総務文教常任委員会》

令和7年度焼津市病院事業 会計予算案

- Q** 病床稼働率85.1%を目指すのはわかるが、この数字を前提として収入算定している根拠は何か。
- A** 現状では難しい数字ではあるが、現在の職員や施設を最大限に活用し、この数字を目指し、努力していきたいと考える。

焼津市立学校施設使用料条例の一部を改正する条例

- Q** 体育館使用時の空調代支払い方法はどうか考えているのか。
- A** 前日や当日の申請も考え、申請・支払いを含めシステム上で出来ればと考えている。
- Q** 予約したが、当日急ぎよ空調使用を止めた場合は。
- A** 支払い前であれば取り消すだけで良いが、支払い後であれば料金の還付作業が必要となる。
- Q** 体育館の空調を使用したかどうかの確認はできるのか。
- A** 現状の施設では確認が難しいため、申請により判断する。

《市民福祉常任委員会》

令和7年度焼津市国民健康 保険事業特別会計予算案

- Q** 高額療養費に占める割合が大きいのはどういった病気か。
- A** 1ヵ月あたり約8百万円の医療費を要する難病患者など、医療費が高額となる高度医療の占める割合が大きい。
- Q** 医療費通知のデジタル化についてどのように考えているか。

- A** 現状、書面通知することで県費の対象となるが、デジタル通知が対象になる旨が国から示されていないことから、現時点では考えていない。



《建設経済常任委員会》

令和7年度焼津市温泉事業 特別会計予算案

- Q** 歳入における温泉使用料が減額であるが、年間供給量の推移は。
- A** 令和4年度が8万8千t、5年度が8万4千tと微減傾向にある。

- Q** 使用料を増やすため、温泉を使った商品開発などの検討はあるか。

- A** 現在は入浴用途のみであるが、今後の温泉利活用については研究していきたい。

令和7年度焼津市水道事業 会計予算案

- Q** 市内の1日平均給水量に対し、市単独の給水能力で十分であると思うが、企業団からの受水は必要か。
- A** 企業団における本市の責任水量としての取り決めであるとともに、複数水源を確保するためのものでもある。

「被災者支援システム」を導入

令和6年1月の能登半島地震でも活用

令和6年度 補正予算

地域部活動推進事業実践
研究委託金

Q 県との契約内容、費用の内容は。
A スポーツ庁が実証実験を委託した業者と県が契約を結び、さらに県と市が委託契約を結んでいる。地域クラブの推進活動のために市でディレクターを雇用しており、保険料、市から各地域クラブへの補助金などを対象に、委託料が支払われる。その際、事業を進める中で、どういう進め方をしたか、課題があったかなどを提出している。



令和7年度 当初予算

災害対応体制整備事業費

Q 被災者支援システムの詳細は。
A 災害があった場合の住宅の被害状況を調査する住家被害認定調査、罹災証明の発行、被災者台帳などを一元管理するシステムである。罹災証明の発行では、住民基本台帳や家屋課税台帳などと連携することで、罹災証明を迅速に発行することができる。被災者台帳は、罹災証明を受け取った世帯や個人、その他の者に対して、支援金、保険料等の減免、仮設住宅などの申込みや市役所の様々な部局の横断的な支援の進捗状況を統合的に管理できる。

外国人支援事業費

Q 令和6年度に比べ減額した理由は。

A タブレット端末の導入により対応できる言語数が増えたため、人件費が削減された。

訪問理美容サービス事業費

Q 対象者と件数見込みは。

A 今までは1回2千円であったが、令和7年度は1回3千5百円を見込み、過去の実績を踏まえ、81回を見込んでいる。

高齢者猛暑災害対策支援事業費

Q 予算の積算根拠は。

A 令和5年度と令和6年度の実績から算出している。1台目の購入が5万円で32世帯160万円、2台目が3万円で30世帯90万円と積算している。

令和7年度 補正予算

避難所環境改善事業費

Q 事業費の内訳は。

A 自動のラップ式トイレを165基、簡易トイレ用のテントを172基、循環型シャワーキットを2基、大型の炊き出し器を3基である。

意見書



市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめ、国会や関係する省庁に意見書として提出をするものです。

下記に一部を抜粋して掲載しておりますので、全文をご覧になりたい方は二次元コードから、「2025年（令和7年）2月定例会」の項目をご覧ください。

全国一律の学校給食費無償化の実現を求める意見書

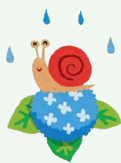
焼津市議会は、少子化が加速する中で、子育てを社会全体で支える観点からも、子育てにおける経済的負担の軽減を図り、子どもたちの健やかな成長を支えるため、国に対して、下記のとおり学校給食費の無償化に向けた財源確保を早期に実現するよう、強く求めるものである。

- 1 全国一律の学校給食費無償化が可能となるよう関係法令の整備を推進すること。
- 2 全国一律の学校給食費無償化のための財源確保及び自治体への財源措置を行うこと。

地方自治法第99条の規定により提出する。

<提出先> 衆参両院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

6月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

日	曜日	内 容	開会時間
6/2	月	本会議（議案の上程）	9:00
6/17	火	本会議（一般質問）	9:00
6/18	水	本会議（一般質問・質疑）	9:00
6/19	木	委員会	9:00
6/27	金	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）	9:00

編集後記

やいづ市議会広報特別委員会が新体制になりました。議会の議論や決定事項が皆さまの暮らしにどう関わるかをより具体的に示していきたいと考えています。そして、「議会だより」が市民にとってわかりやすく、信頼できる情報を的確に伝えることを目指します。

どうぞよろしくお願いいたします。

やいづ市議会広報特別委員会

委員長…内田修司 副委員長…原崎洋一 委員…井出哲哉、増井好典、川島要、深田ゆり子

